

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.87)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)は、5月31日に春期定期点検が終了し、その後、停止していた設備を順次立ち上げ、設備の立ち上がり具合を確認しながら、6月5日から処理を再開しました。6月の実績は下表のとおりです。

6月20日には県内からコンデンサ20台を受け入れました。右上の写真はこの日に受け入れたコンデンサをトラックから降ろしている様子です。右下の写真はコンデンサを1台ずつ検査している様子です。

今後も安全第一でPCB廃棄処理作業に取り組んでまいります。

平成23年6月の操業実績

種 別	受入台数	ライン投入台数
コンデンサ類	474 台	278 台
トランス類	大 型	2 台
	小 型	6 台
	車 載 型	2 台
廃PCB等	8 個	4 個
保管容器	2 個	2 個

※受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数とライン投入台数に差が生じます。



漏れ防止型金属容器をトラックから積み下ろしする様子



コンデンサ受入検査の様子

2. PCB廃棄物の7月の受入計画について

平成23年7月の受入計画(予定)

種 別	受入台数	
コンデンサ類	555 台	
トランス類	大 型	4 台
	小 型	7 台
	車 載 型	3 台
廃PCB等	8 個	
保管容器	2 個	

7月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、豊田市内の事業者から18台、愛知県内から433台、岐阜県内から8台、静岡県内から72台、三重県内から24台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、愛知県内から3台、静岡県内から2台、三重県内から6台、車載型トランスは静岡県内から3台を受け入れる予定です。また、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)は、三重県内から8個、保管容器は、豊田市内から2個を受け入れる予定です。

3. 漏洩対応訓練の実施について

弊社では、豊田事業所再生計画に基づき、各部署で最も起こり得る漏洩事故を想定した漏洩対応訓練を実施しております。

訓練は、各部署のグループ毎に数回に分けて行い、PCBの処理に携わる作業員全員が参加しました。

いかに早く正しい処置をし、状況の報告が出来るか、また手順通りの周辺環境への影響調査の分析が出来るかを、本番と同様の状況のもとで訓練しました。結果として正確な情報報告と対処が出来、十分満足のいく結果を得られました。

また、訓練の中で、実際に処置の途中で発生する漏洩した油を拭き取った吸着マットや油の付着した手袋、靴等の取扱いをどのようにするかの手順も具体的に再確認しました。

今後も引き続き、年一回以上各職場グループ毎にこのような訓練を実施し、事故が発生した場合、素早かつ確かな対応が取れるよう危機管理体制の強化を図っていきます。

4. 安全セミナー開催について

豊田事業所では、1年かけてJESCO、運転会社全社員を対象として、豊田再生計画に基づく安全セミナー（設計思想等の再教育）を実施しています。

6月度は、第9回安全セミナー「豊田PCB廃棄物処理施設の用役設備」、第10回安全セミナー「全体インターロックシステムについて」と題してのセミナーを開催致しました。

「用役設備」では、この施設に配備されている各用役設備がどのような役割をもっているのか、また「全体インターロックシステム」では、これらの用役が停止した時の影響等のような設計思想に基づいてこの施設ができているのか再確認し、これを参考に、さらに確実な緊急時対応に活かしたいと考えています。

今後も月2回のペースで安全セミナーを実施して行きます。



第9回安全セミナーの様子

5. 少量保管事業者に対する説明会の開催について

弊社では、処理対象であるPCB廃棄物（トランス、コンデンサ等）の少量保管事業者を対象に、各地で『PCB廃棄物処理説明会』を開催しています。

6月27、28日に愛知県小牧市、豊山町を対象に説明会を実施し、合わせて82社の事業者の方々にご出席いただきました。

説明会では、平成23年12月～平成24年2月の重点搬入期間に向けて、受入までに進めていただく契約諸手続き、事業者間の積み合わせ運搬等の説明を行いました。

今後も計画的に少量保管事業者向けの説明会を実施し、少量保管物にも配慮したPCB廃棄物の処理を継続してまいります。



説明会の様子（小牧市会場）

6. 産業医による健康講話の実施について

豊田事業所では社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を実施しています。本年度第1回目を6月28日に実施しました。今回は「放射線の健康被害」と題して講話いただきました。



産業医による講話の様子

今回は、福島原子力発電所の事故をきっかけとして、放射線による人体等への影響について社員の関心が高いことから、産業医の中元医師に放射線が健康に与える影響等について講話をお願いしました。

産業医からは、主に①放射線・放射能とは、②身の周りの放射線の実態、③放射線の健康影響の3点について、分かりやすく説明をしていただきました。

放射線の被曝量については、いろいろな数値が報道されているが、それぞれの数値の関係、あるいはそれぞれがどのような位置付けになるのかを考えてほしい。怖がりすぎることが風評被害を生むこととなる。「どの程度の被曝量なのか」「その被曝量の影響はどこまで分かっているのか」を知ること、怖がりすぎず、甘く見すぎない、適切な怖がり方につながるのお話をいただきました。

連絡先

日本環境安全事業株式会社（JESCO） 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>